

潤いのある教室環境づくり

～学校生活の基盤となる学級の環境整備～

埼玉県教育局東部教育事務所

「環境が人を育てる」と言われます。児童生徒にとって、学級は学校生活の基盤であり、ホームルームとなる教室は、その本拠になります。学級担任の教師は、年度当初から学級組織の編成とともに児童生徒の生活の本拠としてふさわしい教室環境づくりを進めていきます。整った教室環境が児童生徒の生活の落ち着きや心の安定のために大切であることは、言うまでもありません。担任教師には、教室環境を常に整備し、物質的にも精神的にも潤いのある学級生活を構築することを念頭に置いて学級経営を行うことが望まれます。あなたは学級担任としてどのような教室環境づくりを行いますか？

ここでは、ホームルーム教室の環境整備について、その留意点をまとめてみます。

1 教室環境づくりの手順

(1) 学級経営案に教室の経営（教室環境の整備・保全・管理）を盛り込む

学級の経営者として、しっかりと自身の経営理念をもとに、学級経営案に具体策を位置付け、常に意識して教室環境の整備・保全・管理に当たります。

【学級経営案の記述例】

項目	方策	具体的な取組	評価
教室の経営 (教室環境)	○教室経営等の物的環境の整理整頓、美化を最優先で実行し、整然とした教室の中で、言語環境や人間関係など、内面的環境の充実に努める。 ◆掲示物・生花による教室美化 ◆机・椅子・ロッカーの整頓 ◆機能的なレイアウト	●当番（日直・給食・清掃）活動、係活動、委員会活動を徹底し、常に美しい環境づくりに努める。 ●学級活動を利用した環境整備作業やレクリエーション的な活動を行う中で、過ごしやすい教室の雰囲気づくりを行う。	

(2) 学級担任の経営ビジョンや児童生徒の発意・発想を基に教室環境を整える

学級経営案に盛り込んだ具体策に沿って学級活動を展開し、学級の組織を活用して児童生徒とともに機能的で生活しやすい教室環境づくりを進めます。

(3) 教室環境の保全・管理を適切に行う

日常での教師の点検はもちろんのこと、係活動や当番活動など、学級の組織を生かして児童生徒自らが点検して環境の保全・管理を行うようにする。

学校の中であって、教室は“家庭”、
教師と児童生徒は、学校の中での“親子”、“家族”です。
自分たちの生活の本拠となる教室は、自分たち（教師と児童生徒）で管理します。

【児童生徒に任せられないこと】

- ①教室の安全点検（窓ガラス、床の破損、棚の破損等）と修理
- ②教室の換気、採光、通風、保温、防音、防火の配慮
- ③机や椅子の体格に合った規格（大きさ）の調整など
- ④視力の弱い児童生徒への配慮など、板書の見えやすい座席の設定
- ⑤学校・学年共通の掲示物（校訓、学校教育目標、学年目標、時間割表、日課表等）

2 教室環境づくり（レイアウト）の具体例



(1) 教室全体のレイアウト（一般例）

小・中学校における一般的なつくりの普通（ホームルーム）教室（例）のレイアウト（プラン）を考えてみましょう。

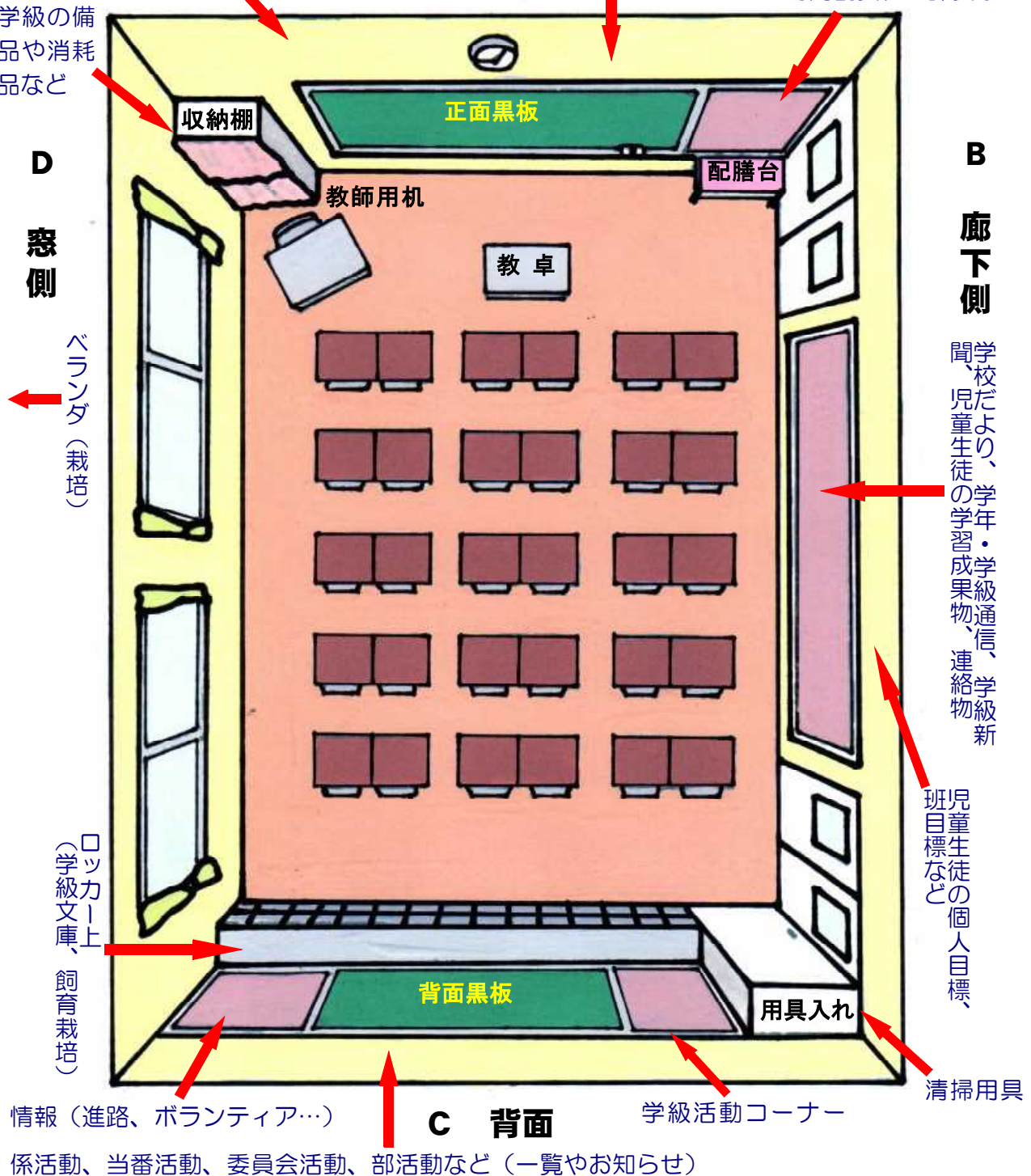
A 正面

学校・学年共通の掲示、学級全体の成果物など

校訓や集団目標（学校教育目標、学年目標、学級目標）、目指す児童生徒像など

時間割表、日課表など

学級の備品や消耗品など



D

窓側

ベランダ
(栽培)

ロッカー上
(学級文庫、飼育栽培)

B

廊下側

学校、学年・学級通信、連絡物、児童生徒の学習成果物、学級新聞

児童生徒の個人目標、班目標など

清掃用具

C 背面

情報（進路、ボランティア…）

学級活動コーナー

係活動、当番活動、委員会活動、部活動など（一覧やお知らせ）

大まかに小・中学校の普通教室に見られる一般的なレイアウトを例示しました。現任校の条件に合わせ、機能的で整然とした美しい教室環境をつくりましょう。

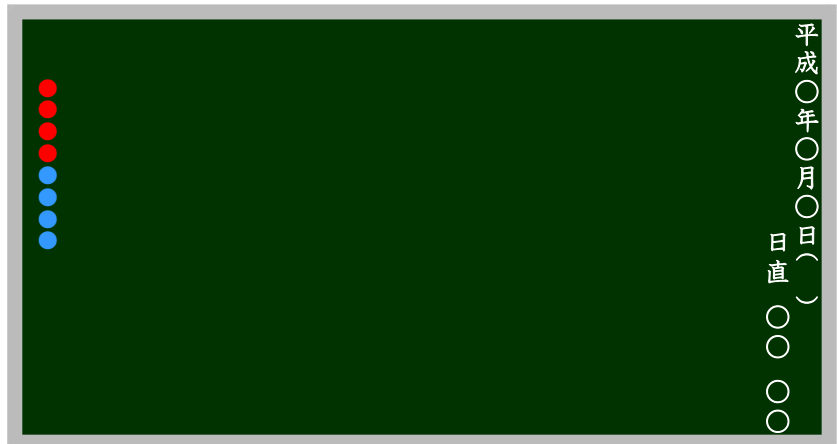
(2) 教室内の設備・備品の保全・管理（一般例）

ここでは、教室内の設備や備品の保全や管理について、一般的な運用例を示します。校種や学年の発達段階、各学校の条件や特色に応じて、自身の教室経営を行う際のヒントとしてください。

運用例

①正面黑板

教室の顔。授業前後のクリーニングを児童生徒の手でしっかりと行わせる。「黑板消し」で二度三度きつく拭き取るときれいになる(マグネットが効くものは決して水拭きしない)。右端に日付や当番を明記、左端は授業の板書の妨げにならないように緊急性・重要性の高い連絡がある場合のみ記す。



正面黑板（運用例）

②背面黑板

様式を統一して授業連絡等に使用している場合が多い。記入の仕方を決めてしっかりと学習内容等の連絡事項が全員に通じるように具体的に記入させる。

平成〇年 〇月〇日()日直〇〇、〇〇

校時	教科等	学習内容	課題・準備
1	国語	和語・漢語・外来語	教科書、ノート
2	算数	小数のわり算を考えよう	教科書、ノート(宿題)
3	理科	植物の発芽と成長	教科書、ノート
4	道徳	心のブレーキ 「つるろえ」	彩の国の道徳
5	図工	めがせ、ローラーの達人	教科書、絵の具セット
6	学活	雨の日の過ごし方考えよう	学級会ノート

背面黑板（運用例）

③教卓

基本的には何も置かない。授業者（学級担任、教科担任）のもつ指導書類や資料が使いやすいようにする。

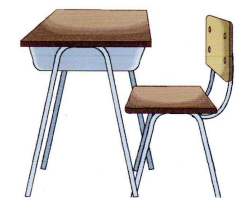
④教師用机

学級担任教師が使用する。集配物等、教師と児童生徒が共用する物品のみ保管し、児童生徒の個人情報や教職員の会議資料等は絶対に置かない。整理された状態を保ち、児童生徒に範を示す。



⑤児童生徒用机・椅子

常に点検と保全・管理に努める。サイズは児童生徒の体格に適合させる。年度当初にきちんと整備して配給する。その後、児童生徒本人に管理させ、本人による破損や落書き等があれば、当該児童生徒に直させる。



⑥ロッカー

棚状で露出しているロッカーでは、紛失や盗難を予防するため、全児童生徒が共通に持っている物のみ収納する。何をどのように入れるかなど、使い方の原則を決めておくとうい。貴重品や部活動の用具類などは別に保管する。

⑦清掃用具入れ

ほうき、ちりとり、バケツなどの清掃用具は、番号をふるなどして用具入れの決められた場所に収納する。適切に指導を重ね、清掃終了後の整理整頓をしっかりと行わせる。



⑧給食用配膳台

給食時にすぐに取り出せる位置に設置。給食当番の使用する物品を収納。常に衛生に気を遣い清潔を保つ。

⑨ガラス窓

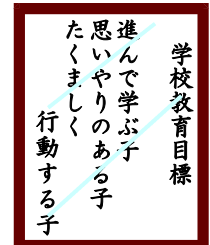
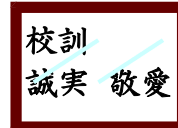
常にきれいな状態を保つ。水で湿らせた布や新聞紙などで拭き取ると効果的。



(3) 掲示物 (一般例)

小・中学校の普通 (ホームルーム) 教室で一般的に見られる掲示物を列挙しますので、参考としてください。

【常設掲示】※見直しや改訂・改選など、変更があった場合は更新する。



①校訓、目標 (集団目標、個人目標)

- 校訓 学校教育目標 学年目標 学級目標
- 班目標 個人目標 各種の委員会等が掲げた月別生活目標

②学校生活を送る上で必要な掲示

- 日課表 時間割表 係活動分担表 給食当番表 給食献立表
- 清掃当番表 清掃分担表 委員会活動一覧 学級名簿
- 生活班名簿 校舎 (教室) 配置図 避難経路 学級新聞
- 通信物 (学校だより、学年・学級通信)
- 児童生徒の成果物 (レポート、学校行事等の感想、道徳・学級活動カードなど)

ポイント

▶教育目標の類は格調高く正面に

校訓や学校教育目標、学年目標、学級目標 (担任の学級経営目標)、目指す児童生徒像などは、児童生徒が決めるものではなく、それ自体に学校が施す「教育の重み」があります。格調高く教室正面に台紙や額などで体裁を整えて掲示すべきものと言ってよいでしょう。

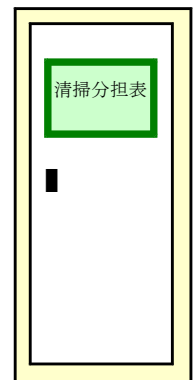
※児童生徒が立てる学級目標など色彩豊かに作成したものは、発達障害をもつ子にとって刺激が強いことがあります。学級の実態に応じて側面や背面の掲示も考えましょう。

▶児童生徒の視線・動線上に必要な情報を

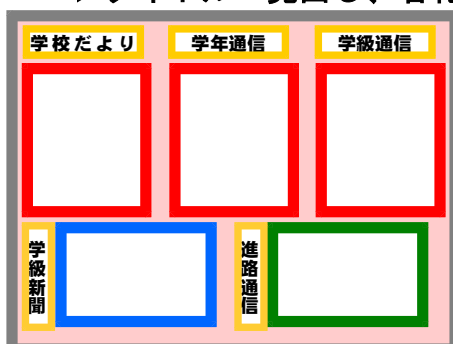
児童生徒が日常の学校生活を営む上で、必要な情報が必要な場所で得られるように配慮します。

〔例〕給食当番表、給食献立表→給食用配膳台の近くに掲示
日直当番表、日直の仕事→教師機の近く、出入口 (消灯スイッチ) の近く

清掃当番表、清掃分担表→清掃用具入れの近く
緊急時の避難経路→出入口付近



▶タイトル・見出し、名札を添えて

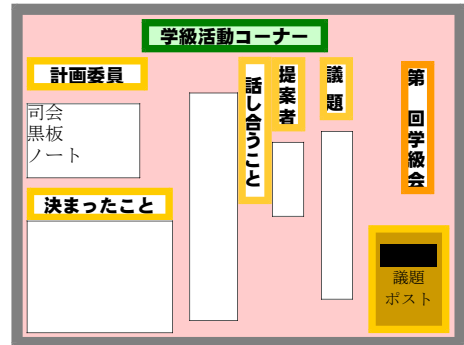


どこに何があるのかをはっきりさせるためにタイトルや見出しを付けます。特に児童生徒の学習の成果物については、一人一人の名札をしっかりと付けましょう。

【コーナー掲示】※時期や期限が過ぎたものは直ちに更新する。

①学級活動コーナー

学級活動の事前～本時～事後の活動の内容について、分かりやすく児童生徒に示すためのコーナー。設置後は、計画委員（小学校）や学級活動委員（中学校）の自主的な運営ができるようにする。



②児童会・生徒会活動コーナー

児童会活動（小学校）・生徒会活動（中学校）の各形態（組織）の活動に関する情報コーナー。児童生徒の自治的、自発的な活動が行われるものであるため、各組織で得た情報をクラスメイトに伝えるために必要とされる。



③学習コーナー

教科の学習指導に係るガイダンス的な資料を掲示し、勉強の仕方や教科の情報を提供するコーナー。教師主導、あるいは教科の学習に関わる係活動で管理する。

〔例〕声のものさし、教育に関する3つの達成目標、

発言・発表の仕方、ノートの取り方、教科学習の方法、家庭学習のアドバイス

④作品コーナー

児童生徒が書写、図画工作・美術、家庭・技術・家庭などの教科で制作・製作した作品の展示コーナー。平面作品は壁面、立体作品はロッカー上などを利用する。

⑤図書コーナー（学級文庫）

児童生徒の読書習慣の確立と促進のために学級の蔵書をまとめて貸し出すコーナー。学校の実態により、書棚や本立て、ワゴン、コンテナなどに蔵書をまとめて児童生徒に貸し出すもの。教師の指導の下に図書係や図書委員になっている児童生徒が管理する。併せて図書の紹介や啓発ポスター等をあつらえるとよい。



⑥その他（学校・学年・学級の実態に応じて）

◆道徳コーナー

児童生徒の心を揺さぶる言葉や文、情報などを掲示する。

◆地域情報コーナー

市町村内でのイベントなど、地域との連携で児童生徒に関わる情報を掲示する。

◆クラブ活動コーナー（小学校第4～6学年）

児童がそれぞれ所属しているクラブ活動の様子を紹介する。

◆進路指導コーナー（中学校）

進学・就職に関する情報を掲示する。上級学校や事業所の案内、パンフレットやチラシ、受験（受検）に関する資料等を閲覧できるようにする。

◆部活動コーナー（中学校）

部活動に関する情報（活動の様子、各種大会の広報など）を掲示する。

ポイント

▶児童生徒の学習の成果物は全員同じ（単元・題材等）ものを掲示し、必ず教師のコメントを

壁面に掲示する児童生徒の学習の成果物（レポート、感想文、学習カード類、作品など）には、特に気を配り、常に全員のものがある状態（長期の欠席者も含めて）にします。未提出の子をそのまま



放っておくようなことなく、いつも一人の漏れもなく支える担任教師の姿が見えるようにしましょう。掲示をすることによって、他の児童生徒や教職員、保護者に見てもらうことに意味がある訳ですから、そこには当然、個々の児童生徒に対する担任教師の指導があってしかるべきです。子どもたち一人一人の成果物には、検印とともに必ず朱書きによる教師のコメントを添えましょう。

▶各種のコーナーの管理・運営は児童生徒に

年度当初の学級組織の編成の際、掲示等の教室環境について触れ、各種のコーナーを設置した後は、できる限り児童生徒の自主的な管理・運営ができるよう、係や当番、委員等の積極的な活動を促しましょう。

(4) 栽培・飼育（一般例）

小・中学校の学級に見られる植物栽培や動物飼育の一般例を挙げますので、参考としてください。

①花瓶、鉢植えなどの生花（教室の美化として）

教室を美しく保つために置くもの。季節の草花を花瓶や鉢植えで教室内に置く。

〔例〕 ナノハナ、スイセン、チューリップ、ショウブ、アジサイ、ユリ、コスモス、ポインセチア…

学年・学級費で用意する場合もあるが、野草や家庭に咲いているものを児童生徒が持ち寄ることもできる。

②植物の栽培・動物の飼育（教科等の学習活動の一環として）

生活、理科などの教科の学習や環境教育、道徳教育の一環として、学級で植物を栽培したり、動物を飼育したりする活動。

〔例〕 植物栽培

◆ヒマワリ、ユリ、ダリヤ…

教室が何階に位置していても、ベランダがあればプランターで栽培可能。丈が高く、教室内からでも鑑賞できる。

◆アサガオ、ゴーヤ、ヘチマ、ヒョウタン…

教室が何階でも、ベランダがあればプランターで栽培可能。支柱やネットがあればグリーンカーテンとなり、夏季の暑さを和らげる効果もある。

◆チューリップ、クロッカス、ヒヤシンス、スイセン…

鉢植えか水栽培で栽培可能。教室内の棚やロッカー上でも成長する。

〔例〕 動物飼育

◆ザリガニ、メダカ、ドジョウ、タナゴ…

水槽で飼育可能。

◆チョウ、カブトムシ、クワガタムシ、スズムシ…

虫かごで飼育可能。



ポイント

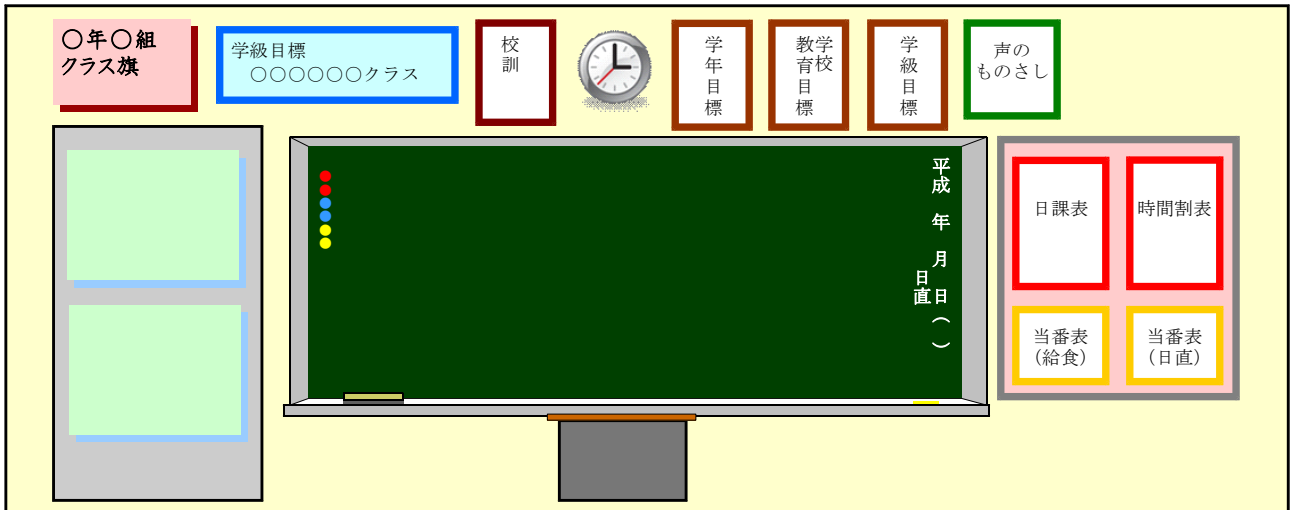
▶生き物の管理は児童生徒とともに、安全・衛生に十分な配慮を

栽培・飼育は、教師の監督の下、花係・生き物係・飼育係・栽培係などの係活動を中心に管理をしましょう。教師は安全・衛生面（植物の枯れや腐り、動物のふん、細菌など）に細心の注意を払いましょう。児童生徒が動植物の世話をした後は、必ず手洗いをするように指導します。

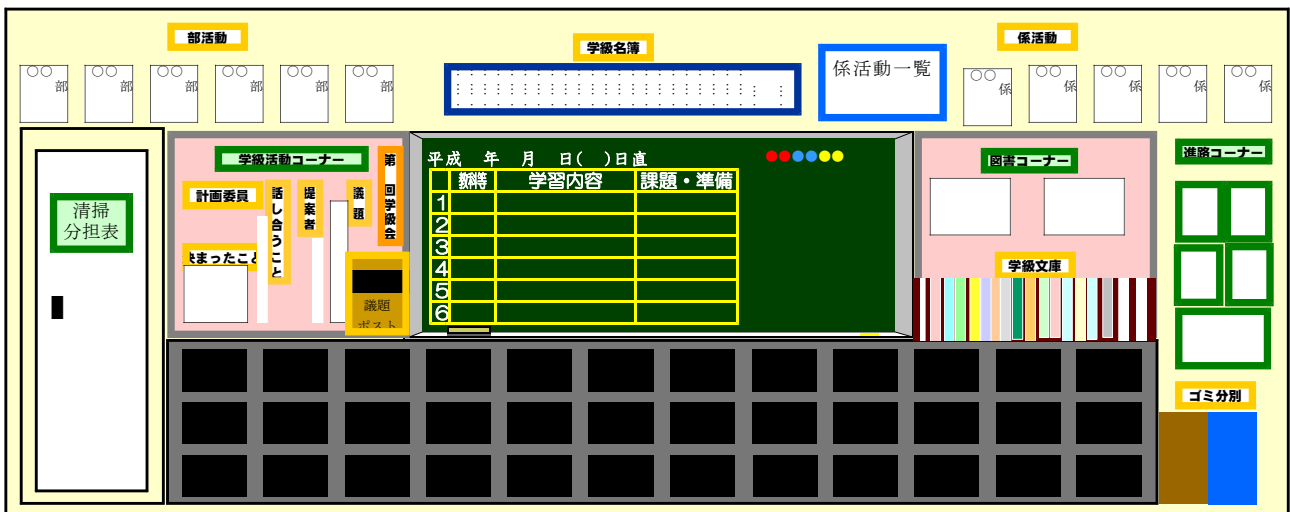
(5) 教室の各壁面のレイアウト（一般例）

これまでの内容を念頭に、教室各壁面のレイアウトを考えてみましょう。

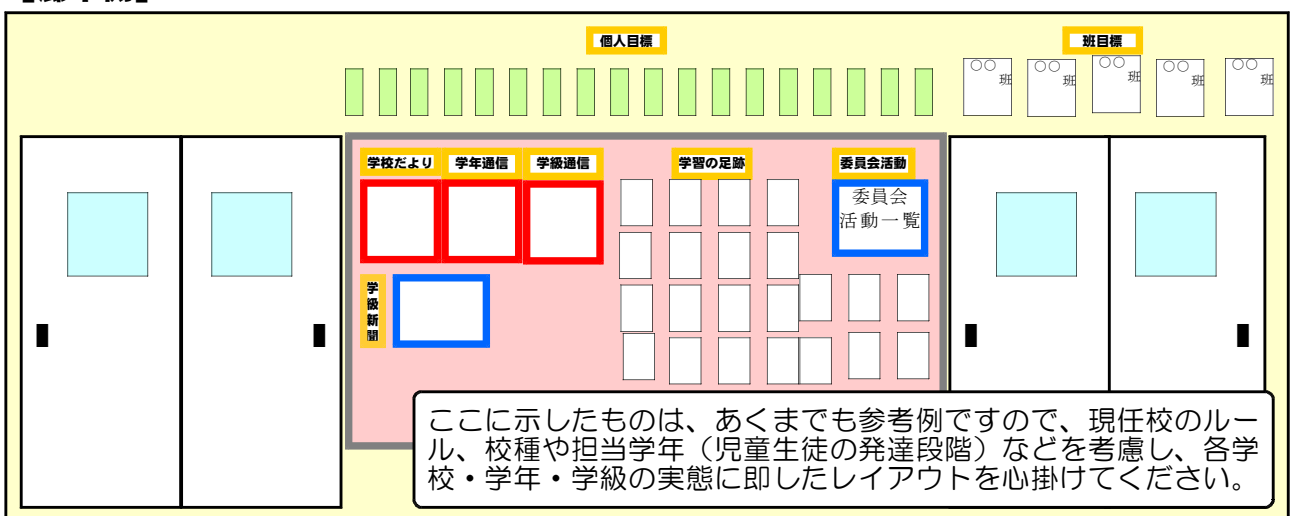
【教室正面】



【教室背面】



【廊下側】



教室環境は、学級担任教師の仕事ぶりや人柄、児童生徒の生活の様子を如実に表すものです。教室に入ると、心が落ち着き、洗われ、浄められる「潤いのある教室環境づくり」を理想に掲げて学級経営を行っていくことが大切です。年度当初の単発的な取組にならないよう、年間通じて快適で機能的な教室環境を保ちましょう。